

Echoes of Jesus



主イエスと私たちの関係性を示す比喻

1. 陶工と粘土(ローマ9:21, イザヤ41:25)
2. 種を蒔く人と蒔かれた種(ルカ8:1-15, マタイ13:1-9)
3. 女性と無くした銀貨(ルカ15:8-10)
4. 漁師と魚(マタイ13:47-50)
5. 木と枝(ヨハネ15:1-4)
6. 羊飼いと羊
(ルカ15:1-7, マタイ18:10-14, ヨハネ10:1-18)
7. 王と家来(マタイ22:31-46)
8. 裁判官とその民(ルカ18:1-8)
9. 主人と僕(ルカ14:15-24, ルカ17:7-10)
10. 友(ヨハネ15:13-14)
11. 父親と息子／娘(ルカ15:11-32, ローマ8:15-17)
12. (愛し合う)夫と妻(エフェソ5:32, 黙示録22:17)

“何をするかで私が決まる I am what I do”

**“何を持っているかで私が決まる I am what I
have”**

**“他の人にどう言われるかで私が決まる
I am what other people say about me”**

**“どのように反応するかで私が決まる
I am how I respond”**

**“何を受けるとかで私が決まる I am what I
receive”**

Echoes of Jesus

“私は愛されている。I am loved”

**“私は愛される存在である。
I am the beloved”**

“私は主のものである。I am His”

Lesson 3 - Echoes of the Ministry of Peter & Paul in Acts

レッスンⅢ

使徒言行録におけるペトロとパウロのミニストリーの共鳴

使徒言行録は二つに分けることが可能だと言われます。

前半はペトロを中心に描かれている1-12章、そして後半13-28章はパウロを中心に描かれています。パウロの回心は二つの部分の間の9章に入っています。

Echoes of Jesus

① 聖霊を与える

ペトロがミニストリー活動を活発に始める前に、使徒2:1-4においてユダヤ人に宣教するためペトロと全ての使徒に聖霊が降った。

パウロがミニストリー活動を活発に始める前にも、使徒13:1-3において聖霊が現れパウロに具体的な任務を告げた。

使徒2:1-4

五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。

使徒13:13

アンティオキアでは、その教会にバルナバ、ニゲルと呼ばれるシメオン、キレネ人のルキオ、領主ヘロデと一緒に育ったマナエン、サウロなど、預言する者や教師たちがいた。彼らが主を礼拝し、断食していると、聖霊が告げた。「さあ、バルナバとサウロをわたしのために選び出さなさい。わたしが前もって二人に決めておいた仕事に当たらせるために。」

Echoes

② 聖霊が現れた後に群衆に説教を開始する
使徒2:14でペトロが大胆に群衆に説教を開始する。
使徒13:16でパウロが大胆に群衆に説教を開始する。

使徒2:14

すると、ペトロは十一人と共に立って、声を張り上げ、話し始めた。「ユダヤの方々、またエルサレムに住むすべての人たち、知っていただきたいことがあります。わたしの言葉に耳を傾けてください。

使徒13:16

そこで、パウロは立ち上がり、手で人々を制して言った。「イスラエルの人たち、ならびに神を畏れるの方々、聞いてください。

Echoes of Jesus

③ 足の不自由な男を癒す

使徒3:1-5でペトロは足の不自由な男を癒した。
使徒14:8-10ではパウロが足の不自由な男を癒した。二人の指導者と足の不自由な男のやりとりが非常に似通っている。

使徒3:1-5

ペトロとヨハネが、午後三時の祈りの時に神殿に上って行った。すると、生まれながら足の不自由な男が運ばれて来た。神殿の境内に入る人に施しを乞うため、毎日「美しい門」という神殿の門のそばに置いてもらっていたのである。彼はペトロとヨハネが境内に入ろうとするのを見て、施しを乞うた。その男が、何かもらえろと思って二人を見つめていると、

使徒14:8-10

リストラに、足の不自由な男が座っていた。生まれつき足が悪く、まだ一度も歩いたことがなかった。この人が、パウロの話すのを聞いていた。パウロは彼を見つめ、いやされるのにふさわしい信仰があるのを認め、「自分の足でまっすぐに立ちなさい」と大声で言った。すると、その人は躍り上がって歩きだした。

Echoes

④ 群衆に説教した。「皆さん、なぜこんなことをするのですか。」

使徒3:12ではペトロが群衆に質問を投げかけ、同じくパウロも同様のやり方で群衆に質問した。「皆さん、なぜこんなことをするのですか。」と使徒14:15にある。

使徒3:12

これを見たペトロは、民衆に言った。「イスラエルの人たち、なぜこのことに驚くのですか。また、わたしたちがまるで自分の力や信心によって、この人を歩かせたかのように、なぜ、わたしたちを見つめるのですか。

使徒14:15

言った。「皆さん、なぜ、こんなことをするのですか。わたしたちも、あなたがたと同じ人間にすぎません。あなたがたが、このような偶像を離れて、生ける神に立ち帰るように、わたしたちは福音を告げ知らせているのです。この神こそ、天と地と海と、そしてその中にあるすべてのものを造られた方です。

⑤ 迫害され石打ちにあう

使徒7:54-58では、ペトロによって執事と任命されたステファノは、石打ちあって殺害された。その結果弟子たちは地域を超えて離散した。パウロも同じように使徒14:19-20で石打ちにあい、その後より広い地域に福音を告げ知らせることとなった。

使徒7:54-58

人々はこれを聞いて激しく怒り、ステファノに向かって歯ぎしりした。ステファノは聖霊に満たされ、天を見つめ、神の栄光と神の右に立っておられるイエスとを見て、「天が開いて、人の子が神の右に立っておられるのが見える」と言った。人々は大声で叫びながら耳を手でふさぎ、ステファノ目がけて一斉に襲いかかり、都の外に引きずり出して石を投げ始めた。証人たちは、自分の着ている物をサウロという若者の足もとに置いた。

使徒14:19-20

ところが、ユダヤ人たちがアンティオキアとイコニオンからやって来て、群衆を抱き込み、パウロに石を投げつけ、死んでしまったものと思っ、町の外へ引きずり出した。しかし、弟子たちが周りを取り囲むと、パウロは起き上がって町に入ってしまった。そして翌日、バルナバと一緒にデルベへ向かった。

Echoes of Jesus

⑥ 計画よりも導き

使徒10-11章で、ペトロは神様が異邦人にも扉を開いていることを受け入れるという、これまでの彼の考えを大きく変えざるを得ない経験をした(使徒11:17)。同じように、パウロも、使徒16:7-10で見られるように彼自身の計画とは全く反する場所へ導かれた。

使徒11:17

こうして、主イエス・キリストを信じるようになったわたしたちに与えてくださったのと同じ賜物を、神が彼らにもお与えになったのなら、わたしのような者が、神がそうなさるのをどうして妨げることができたでしょうか。」

使徒16:7-10

ミシア地方の近くまで行き、ビティニア州に入ろうとしたが、イエスの霊がそれを許さなかった。それで、ミシア地方を通過してトロアスに下った。その夜、パウロは幻を見た。その中で一人のマケドニア人が立って、「マケドニア州に渡って来て、わたしたちを助けてください」と言ってパウロに願った。パウロがこの幻を見たとき、わたしたちはすぐにマケドニアへ向けて出発することにした。マケドニア人に福音を告げ知らせるために、神がわたしたちを召されているのだと、確信するに至ったからである。

Echoes of Jesus

⑦最後は投獄された

使徒言行録でのペトロの部分は、使徒12:1-4にあるように投獄で終わった。同じように使徒言行録でパウロについて書かれている部分も、使徒24:27と28:16にあるように投獄によって終わっている。二人は共にユダヤ人の手から逃げていた。

使徒12:1-4

そのころ、ヘロデ王は教会のある人々に迫害の手を伸ばし、ヨハネの兄弟ヤコブを剣で殺した。そして、それがユダヤ人に喜ばれるのを見て、更にペトロをも捕らえようとした。それは、除酵祭の時期であった。ヘロデはペトロを捕らえて牢に入れ、四人一組の兵士四組に引き渡して監視させた。過越祭の後で民衆の前に引き出すつもりであった。

使徒24:27、28:16

さて、二年たって、フェリクスの後任者としてポルキウス・フェストゥスが赴任したが、フェリクスは、ユダヤ人に気に入られようとして、パウロを監禁したままにしておいた。

使徒28:16

わたしたちがローマに入ったとき、パウロは番兵を一人つけられたが、自分だけで住むことを許された。

⑧ 彼らの生涯の最期は知られていないが、御言葉が広まったことは知られている

ペトロの生涯の最期は知られていないが、使徒12:24にあるように、御言葉が広まったことは明らかにされている。同じようにパウロも、聖書の記述からは彼の生涯の最期はわからないが、使徒28:31にあるように御言葉が広まったことは明らかにされている。どちらの場合も、それぞれのリーダーシップのもと御言葉が広まり続けた。

Echoes of Jesus

使徒12:24

**神の言葉はますます栄え、
広がって行った。**

使徒28:31

**全く自由に何の妨げもなく、
神の国を宣べ伝え、主イエ
ス・キリストについて教え続
けた。**

Echoes

何も御言葉が広まるのを止めることができませんでした。人種や文化の違い(使徒11:17、11:19-20)、大飢饉(使徒11:27-30)、迫害(使徒12:1-19)、利己的な支配者の反対(使徒12:20-23、使徒24:27、使徒28:16、31)なども、障害にはなりませんでした。